

かごしま 市民のひろば

6 / 1
No.37

編集と発行 鹿児島市広報室

鹿児島市の人口（推計）403,161人（男188,821人 女214,340人）122,898世帯（45.5.1現在）



家を押しつぶし、死者2名重傷者1名を出した山津波現場（昨年7月5日吉野町平松で）

12	34	56	78	910	1112	1314	1516	1718	1920	2122	2324	25
松城	原南	保幡	田郡	池池	小中	央竜宿	宇武	田原	伊東改谷	谷谷	ラ・鹿和	田
天八	荒中	鴨鴨	南南	中大	小小	小小	小小	中中	公小	小中	島	小中
校	校	校	校	校	学	学	学	学	民学	学	学	学
校	校	校	校	校	学	学	学	学	学	学	会	高工
校	校	校	校	校	学	学	学	学	学	学	子	学校

市が開設する避難所

くずれやすいのがけや土手は切り取るか補強し、雨が浸透しないようにビニールをかぶせる。
排水溝は補修し、ゴミなどを注意すること。

市では、災害時の避難所として左の表のとおり学校など二十五カ所を指定していますが、必要があればこの他にも臨時避難所を開きます。もし、危いと思ったら、ちゅうちょすることなくすぐ避難しましょう。

今日、生活環境や生活様式が非常に速いスピードで変わっていく中で、他人の生活態度なりを顧みる余地がなくなつたといえはそれまでのことで、私たちが社会生活を営む上に、「かたい人」であるといわれる人たちだけは失いたくないものだと思います。それは、社会生活を支えていくためには、お互いの生活態度というものが最も重視されなければならないからであり、このことはどのような時代であつても変わりのあるものではありません。

民主主義の時代であればあるほど、「かたい人」と称せられる人びとが尊敬されなければならないにもかかわらず、「かたい人」という言葉が聞かれなくなり、そして、そういう人に対する尊敬の心がうすらいでいるのであれば、たいへんさびしいことだと思います。

市政五本の柱

- ◎市民生活の環境整備
- ◎こどもとお年寄りを大切にすること
- ◎市民性を高める教育文化の拡充
- ◎市民生活を豊かにする産業の振興
- ◎南九州の中心都市としての機能整備

雨期の災害に備えを

六月の下旬に大雨のおそれ

もうすぐ本格的な梅雨を迎える。鹿児島ではシラス土壌が多いのと、宅造工事などが盛んに行なわれているため、大雨や長雨のたびに、土砂の流出やがけくずれ、床下浸水などの被害が出ており、昨年の集中豪雨では十八名もの尊い犠牲者まで出しています。ことしこそ災害を未然に防ぐために、お互に備えを怠らないようにしましょう。

ことしの梅雨は陽性型。鹿児島地方気象台の予報によりますと、ことしの梅雨は、しととと降り続く長雨ではなく、ときには激しく降り、晴れるときはカラッと晴れる陽性型。六月上旬の後半から入り、七

月中旬にはあけた見込みですが、とにかく六月の下旬から七月上旬にかけては、局地的な大雨が降ります。それがあるということです。

市でも市内の災害危険箇所を

事前に調査し、必要な防災対策

を行なうよう各関係機関や業者

と交渉を進めるほか、地区別に

災害対策説明会を開くなど、防

災体制を整えてますが、災害

を未然に防ぐには、私たち一人

一人の心がまえも肝心です。

去年の集中豪雨のときでも、

